

令和7年6月8日（日）、荏田町パンジープラザにて開催された「第42回 歯と口の健康フェア」に、言語聴覚士として参加させていただきました。今回は北九州地区の言語聴覚士の先生方のご協力もあり、総勢12名の協力員体制で活動を行うことができ、より充実した対応が可能となりました。

言語聴覚士のブースには今年も多くの方々にお立ち寄りいただき、特にご家族連れの姿が多く見受けられました。親子三世代で来場され、日常ではなかなか体験できない舌圧測定を楽しんでいただく様子が印象的でした。また、毎年このフェアに参加されているという方の中には、「昨年も舌圧を測定した」「毎日あいうべ体操を実践している」とお話しくださる方もおり、地域における健康意識の高さを感じました。

担当した相談コーナーでは、高齢者の誤嚥性肺炎に関する質問が多く寄せられ、来場者の皆さまの関心の高さを改めて実感しました。近年では、肺炎で亡くなられる著名人の報道も多く、「自分の飲み込みの状態が気になる」といった声が多く聞かれました。嚥下機能のチェックや舌圧測定の結果を提示し、説明を行うことで、ご自身の口腔機能や嚥下機能への理解が深まり、口腔機能低下の予防への意識づけにもつながったと感じています。

このような地域の健康フェアに参加するたびに、言語聴覚士としての役割の幅広さや、口腔機能が年齢を問わず生活の質に深く関わっていることを実感します。今後も、専門職としての知識と技術を活かしながら、地域の皆さまの健康づくりに貢献してまいりたいと思います。

訪問看護ステーション悠 神崎智康